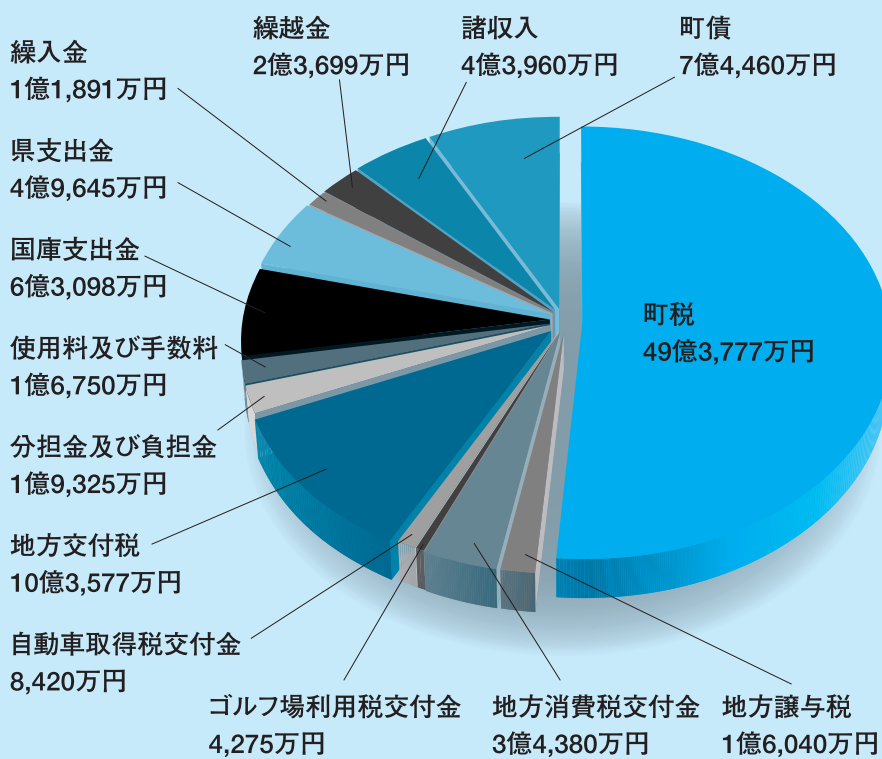


00万円の黒字を達成

借金(町債)残高は9,000万円減

歳入 97億5,862万円



(※主なものを抜粋)

9月定例会は、9月3日から12日までの10日間の会期で開かれました。町長から提案された議案は、条例改正・補正予算など19議案でした。歳出総額91億7497万円の一般会計ほか7会計の平成19年度決算は、2日間の決算特別委員会で審査し、全議案をすべて原案のとおり可決・認定しました。

一般質問は8議員が行い、公共施設の耐震化問題など、幅広く町政について質問しました。

最終日には、追加議案として提案された3議案および議員提案の「食育推進に関する決議」を可決し、閉会しました。

歳入の50%を町税が占める

平成19年度一般会計決算の概要

1. 歳入

町税収入が、法人所得の伸びや税源移譲などの理由から、49億3700万円(前年度より7億円以上増加)となり、歳入総額に占める割合が50%を超えました。

借金(町債)は、玉村中学校の建設に係る約3億3000万円を実行しましたが、前年度より9000万円減の92億6900万円となりました。

2. 歳出

玉村中学校の建設費として、5億7400万円を支出しました。土木費では、道路新設に伴う用地買収の遅れなどから、1億7000万円あまりが平成20年度に繰り越されました。

3. その他

預金(財政調整基金)残高は27億8400万円となり、3億円が平成20年度に積み立てられました。

各会計の決算書に付された監査委員の意見は、「特に指摘すべき事項はない。」となっています。

財政健全化法に基づく健全化指標

財政健全化法に基づく各種比率のうち、実質赤字に係る比率は赤字団体を対象としているため、玉村町は対象外です。実質公債費比率も7.7(県内市町村平均は11.9)と、低水準を維持しています。

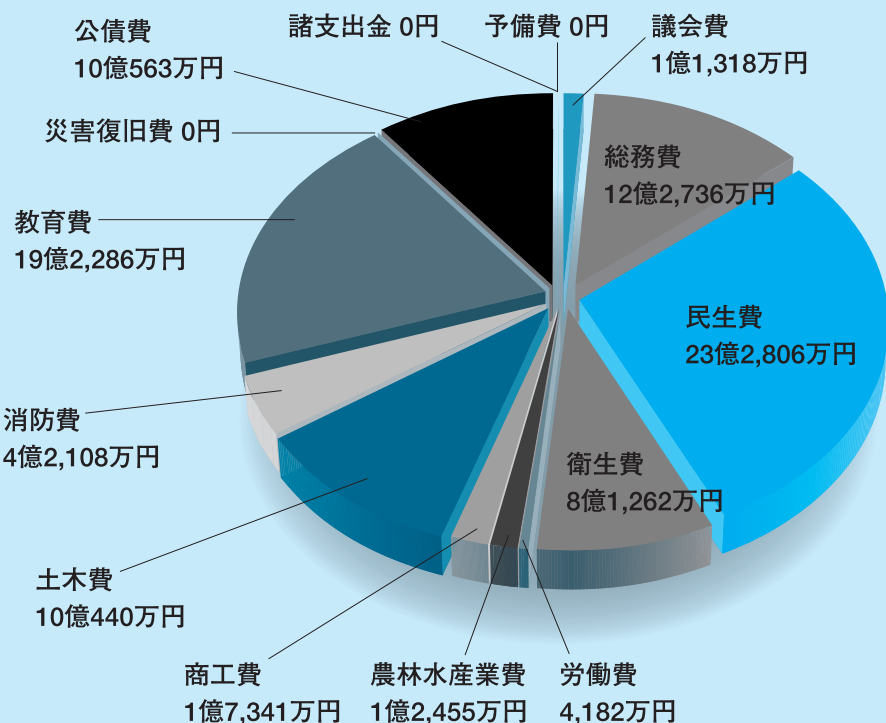
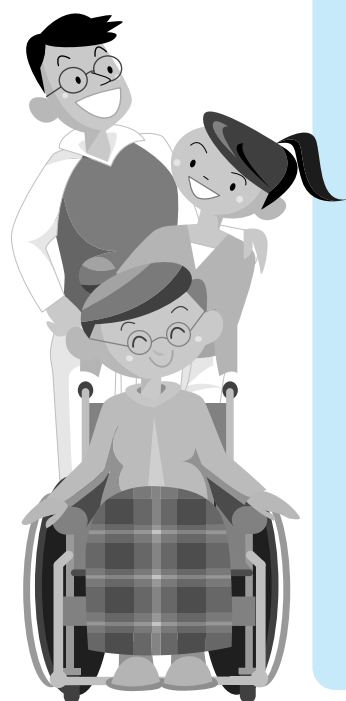
自主財源の調達力を表す財政力指数は、前年度から0.02アップして、0.80となりました。

※財政力指数が1.00以上になると、財政が豊かであるとして、国からの普通交付税が交付されなくなります。

一般会計決算5億2,111万円

預金(財政調整基金)は3億円増、

歳出 91億7,497万円



決算特別委員会で、内容をしっかりチェックしました。詳しくは、次のページで紹介します。



特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	32億2,478万円	29億7,561万円
老人保健	20億260万円	19億8,547万円
介護保険	11億5,671万円	11億3,151万円
介護予防サービス事業	761万円	761万円
下水道事業	13億4,250万円	12億7,372万円

事業会計決算

事業会計名	収入	支出
水道事業	7億7,527万円	9億3,210万円
農業共済事業	7,420万円	7,267万円